

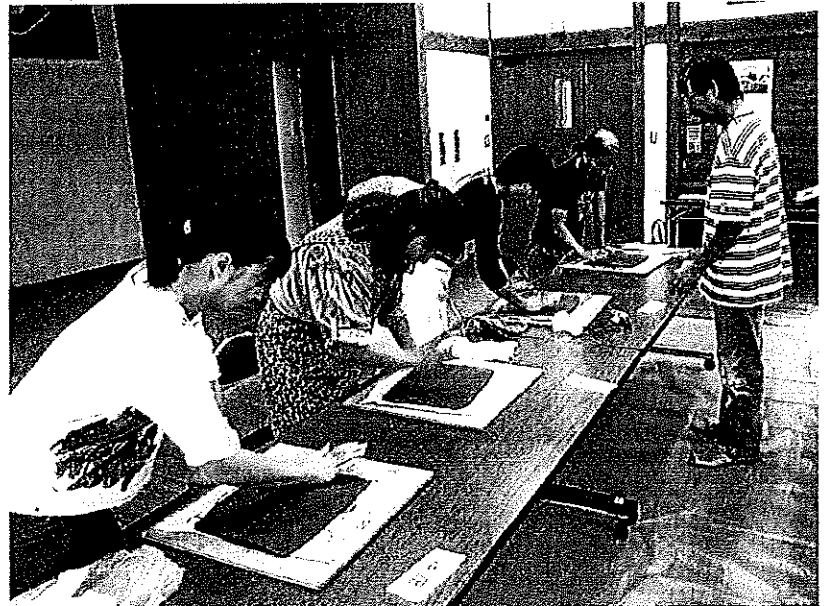
おもしろ お母さん

第2号

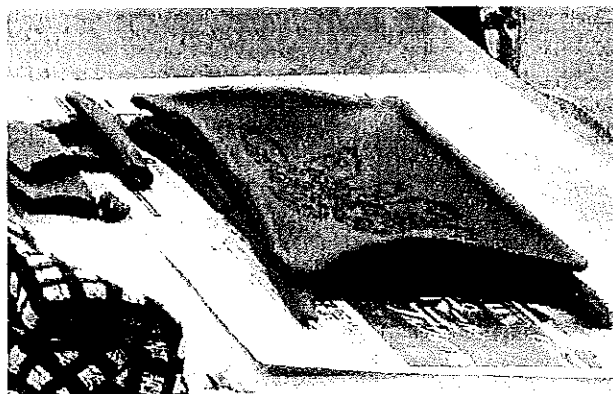
平成25年7月刊行

第5ブロックは静岡市で一番大きな学校と一番小さな学校を持った、ユニークなブロックです。広い学区をカバーしたブロックの特徴である「地域の特性・名物」にスポットを当てて、発見のある楽しい母親委員活動を目指し、25年度は「地域探訪」を合言葉に講座を企画してみました。

去る7月3日に母親委員は「清沢焼き講座」を開催いたしました。講師には清沢地区在住の「森 義彦先生」をお招きいたしました。当日の講座で使う粘土は事前に先生が十分にこねて、直ぐに受講生が使えるように準備してきてくださいました。私たち母親委員は各々先生の指導で「お皿」をデザインして、ヘラを使い絵を刻んで行きました。



小さな頃に随分とやった粘土細工ですが、久しぶりに触る粘土の柔らかさやヒンヤリとした感触に懐かしさを覚えました。お皿の造形には水を使って軟らかなカーブを付けて行きます。初めの内は先生の話して下さる「焼き」の行程の事も耳に入ってきましたが、皆さんも作っているうちに夢中になって、いつの間にか口数も少なくなって行きました(笑)



一生懸命に作ったお皿は、早くも焼入れが終わったところを想像してしまいます。はやる気持ちを抑えて、焼き上がり待つ事も陶芸の醍醐味のひとつだと教えて頂きました。ものづくりの楽しさと奥の深さを、ほんの少しですが勉強させて頂けたように感じました。陶芸は人生に例えて語られる事が、あります。丁寧な下準備と優しく手間を掛けることは子育てにも通じます。また「機は熟して待つ」ことは母親の役目でもあります。素朴な清沢焼きが近くに伝承されている事を嬉しく感じた一日でした。